



株主のみなさまへ

第98期

中間報告書

2022.4.1 ▶ 2022.9.30

末尾に株主総会資料(招集ご通知)の電子提供制度に関するお知らせを記載しております。
ご確認の程よろしくお願い申し上げます。

 **トヨタ紡織株式会社**

証券コード：3116

株主のみなさまへ



平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちは「100年に一度」と言われる大変革期に直面しており、また足元でも半導体などの部品不足に起因する生産台数の減少、原材料・物流費の高騰など様々な外部要因により先行き不透明な状況にあり、加えて新型コロナウイルスの影響により社会のあり方そのものも大きく変わりました。

このように世界が大きく変化していく中で、当社グループは、ビジョン「明日の社会を見据え、世界中のお客さまへ感動を織りなす移動空間の未来を創造する」を目指し、マテリアリティ、2025年中期経営計画のもと、社会的価値、経済的価値の両面から持続可能な成長の実現に向け、全員一丸となって課題へ取り組んでおります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

取締役 会長	豊田周平
取締役 副会長	宮崎直樹
取締役 社長	白柳正義

会社の概況 (2022年9月30日現在)

株式の総数

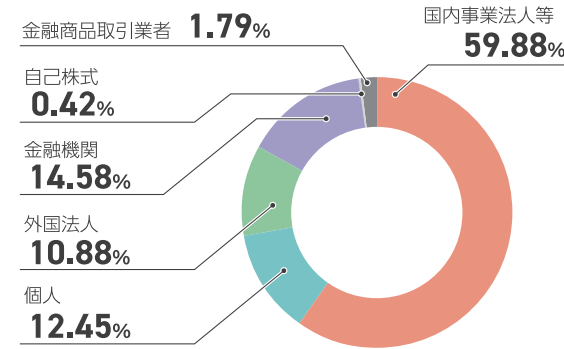
発行可能株式総数 500,000,000株
 発行済株式の総数 186,884,185株
 (自己株式 781,553 株を除く)

会社データ

設立 1950年5月
 資本金 8,400百万円
 従業員数 単独 8,302人 連結 44,637人
 本社 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地

株主数 (18,153人)

所有者別株式分布状況

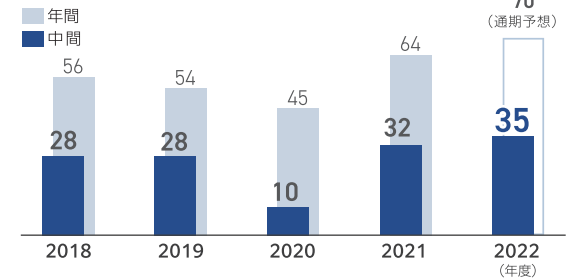


役員 (取締役および監査役)

取締役 会長	豊田周平	取締役	小山明宏 ^{※1}	常勤監査役	南康
取締役 副会長	宮崎直樹	取締役	塩川純子 ^{※1}	常勤監査役	笛田泰弘
取締役 社長	白柳正義	取締役	瀬戸章文 ^{※1}	監査役	横山裕行 ^{※2}
取締役 執行役員	山本卓	取締役	伊藤健一郎 ^{※1}	監査役	三浦洋 ^{※2}
取締役 執行役員	岩森俊一				

※1 社外取締役 ※2 社外監査役

配当金の推移 (単位: 円)



当社は、長期安定的な配当の継続を基本に、連結実績および配当性向などを総合的に勘案し、株主のみなさまのご期待にお応えしていくことを配当の基本方針としています。

中間配当金について

2022年9月30日最終の株主名簿に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当金をお支払いします。

1. 中間配当金
1株につき35円
2. 効力発生日ならびに支払い開始日
2022年11月25日

TOPICS

トピックス

01 新社長就任会見・マスコミ合同インタビュー実施

6月14日付で新しく当社社長に白柳が就任いたしました。6月28日、刈谷本社にて就任会見・マスコミ合同インタビューを実施しました。社長の白柳は、所信表明で、グローバルサプライヤーを凌駕する会社の実現に向け、「トヨタ紡織グループ5万人の仲間と一緒に、何としても成し遂げたい」と強い思いを述べるとともに、「これからは、お客さま、関係する会社、地域社会、株主のみなさま、そして、すべての従業員、ご家族も含め、共感と応援をいただき、『好きだな、トヨタ紡織』という会社にしていきたい」と伝えました。



所信表明を行う社長の白柳

02 自動車用シート骨格機構部品の生産移管契約の締結

6月にアイシングループのシート骨格機構部品の主たる国内生産拠点である、シロキ工業株式会社の名古屋工場(愛知県豊田市西広瀬町)を当社が譲り受けることに合意し、生産移管契約を締結しました。2015年からトヨタ自動車株式会社向けシート骨格機構部品の開発・生産機能の当社への移管を順次進めてまいりました。今回の合意により、自動車用シート事業のグローバルでの更なる競争力強化を進めてまいります。



シート骨格

03 新型クラウン(クロスオーバー)にシート、内装品などが採用

7月にトヨタ自動車株式会社が発表した新型クラウン(クロスオーバー)に当社の製品が採用されました。シートには光輝剤入りの表皮材で加飾*を施し、高級感のある見栄えとともに乗り心地を追求したシートになっています。その他、当社が三井化学株式会社と共同開発した高耐衝撃プラスチックを配合したドアトリムなどが採用されました。



シート、ドアトリムなどが採用

*CROSSOVER G, CROSSOVER RSグレード



レンガづくりの建物

04 歴史未来館、グッドデザイン賞を受賞

刈谷本社内に完成した歴史未来館が、操業時の建物の一部を移築したサステナブルな取り組みなどが評価され、2022年度グッドデザイン賞を受賞しました。なお、一般見学は4月から開始しています。

予約受付については、会社ウェブサイトからご確認ください。
<https://www.toyota-boshoku.com/jp/news/post-93.html>

05 中部国際空港「フライトパーク」へ航空機シートを提供

8月に中部国際空港にある複合商業施設「フライト・オブ・ドリームズ」内の展示エリア「フライトパーク」に当社が全日本空輸株式会社と共同開発した、航空機シートを提供しました。



運航中の航空機のシートを見て・触れて・体感いただける展示

06 自動車用シートカバーの表皮材を利用したアップサイクル商品を販売

廃棄物の低減、CO₂削減の一環として、自動車用シートカバーの廃棄される表皮材を利用した商品の販売など、アップサイクル活動を推進しています。



中日ドラゴンズのマスコットキャラクター「ドアラ」とコラボしたシートクッションを販売

07 企業スポーツを通じた社会貢献活動

当社グループのスポーツ活動である陸上部、女子バスケットボール部、ボート部、ハンドボール部は、地域の子どもたちとの交流など、スポーツを通じて、さまざまな社会貢献活動を実施しています。



地域の子どもたちを対象としたバスケット教室

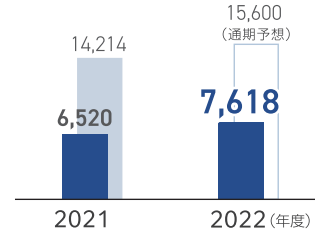
連結決算のご報告

トヨタ紡織グループは2018年度から国際会計基準(IFRS)を適用しています。

■ 第2四半期累計 ■ 通期 □ 通期予想

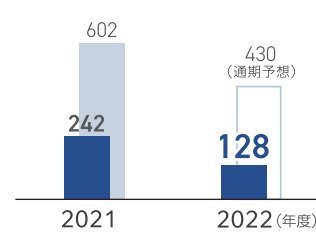
財務ハイライト

売上収益 (単位: 億円)



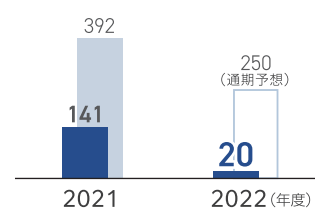
グローバルにおけるコロナ禍からの需要回復や為替の影響などにより、1,097億円(16.8%)増加の7,618億円となりました。

営業利益 (単位: 億円)



主に日本での部品供給問題などによる車種構成の変化やロシア事業終了に伴う費用計上(76億円)などにより、113億円(△47.0%)減少の128億円となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益 (単位: 億円)

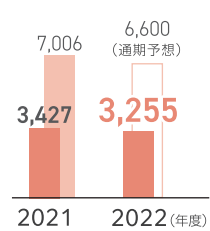


営業利益の減少などにより、121億円(△85.8%)減少の20億円となりました。

地域別事業概況

各地域別の売上収益対前年比較

日本 (単位: 億円)



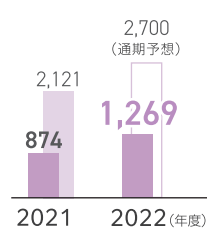
部品供給問題などの影響による生産台数の減少により、171億円(△5.0%)減少の3,255億円となりました。

北中南米 (単位: 億円)



生産台数の増加や為替の影響などにより、507億円(34.8%)増加の1,967億円となりました。

中国 (単位: 億円)



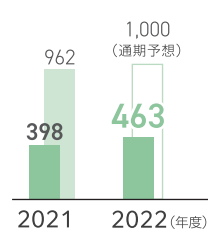
昨年度下期の新車投入などによる生産台数の増加や為替の影響などにより、394億円(45.2%)増加の1,269億円となりました。

アジア・オセアニア (単位: 億円)



生産台数の増加や為替の影響などにより、341億円(41.6%)増加の1,160億円となりました。

欧州・アフリカ (単位: 億円)



生産台数の増加や為替の影響などにより、65億円(16.5%)増加の463億円となりました。

決算概要

連結財政状態計算書

資産

(単位: 億円)

科目	前期末 (2022年3月31日)	当第2四半期末 (2022年9月30日)
流動資産	6,143	6,382
現金及び現金同等物	2,379	2,454
営業債権及びその他の債権	2,618	2,715
棚卸資産	793	923
その他の流動資産	352	288
非流動資産	3,504	3,650
有形固定資産	2,704	2,822
無形資産	179	182
その他の非流動資産	619	646
資産合計	9,647	10,032

負債及び資本

(単位: 億円)

科目	前期末 (2022年3月31日)	当第2四半期末 (2022年9月30日)
流動負債	3,599	4,023
営業債務及びその他の債務	2,189	2,178
社債及び借入金	283	689
その他の流動負債	1,125	1,155
非流動負債	1,809	1,650
社債及び借入金	1,113	902
その他の非流動負債	695	748
負債合計	5,409	5,673
資本金	84	84
資本剰余金	30	31
利益剰余金他	3,440	3,402
その他の資本の構成要素	305	499
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,861	4,016
非支配持分	376	342
資本合計	4,238	4,358
負債及び資本合計	9,647	10,032

連結損益計算書の要旨

(単位: 億円)

科目	前第2四半期累計期間 (2021年4月1日~2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (2022年4月1日~2022年9月30日)
売上収益	6,520	7,618
売上原価	5,848	6,932
売上総利益	672	685
販売費及び一般管理費	430	520
その他の収益	23	27
その他の費用	21	62
営業利益	242	128
金融収益	14	68
金融費用	5	10
持分法による投資利益	6	10
税引前四半期利益	257	197
法人所得税費用	90	144
四半期利益	167	52
親会社の所有者に帰属する四半期利益	141	20
非支配持分	25	32

[株式事務のお取り扱いについて]

■ 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

■ 定時株主総会

毎年6月

■ 配当金支払株主確定日

3月31日 なお、中間配当を実施するときは9月30日

■ 株主名簿管理人および特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1

■ ご注意

1. 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取(買増)請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主さまの各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

[株主に関するお手続きについて]

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記の窓口にお問合せください。

■ 特別口座に記録された株式

- 特別口座から一般口座への振替請求
- 郵便物等の発送と返戻に関するご照会
- 単元未満株式の買取(買増)請求
- 支払期限経過後の配当金に関するご照会
- 住所・氏名等のご変更
- 株式事務に関する一般的なお問合せ
- 特別口座の残高照会
- 配当金の受領方法の指定※

※特別口座に記載された株式をご所有の株主さまは、配当金の受領方法として、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である株式数比例配分方式はご利用いただけません。

■ 証券会社等の口座に記録された株式

- 郵便物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期限経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合せ
- 上記以外のお手続き、ご照会等
口座を開設されている証券会社等にお問合せください



■ お問合せ先

[株主名簿管理人および特別口座管理機関]

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1

■ 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-232-711

(通話料無料)

🌐 <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

三菱UFJ信託 株 照会 🔍



[株主総会資料(招集ご通知)の電子提供制度について]

株主総会資料(招集ご通知)の電子提供制度の開始に伴い、印刷した全ページの招集ご通知は原則として発送しなくなります。ただし、招集ご通知の一部(議案内容等)を議決権行使書とともに発送する予定です。全ページの招集ご通知(インターネット開示事項を除く)を書面で必要な株主さまは、2023年3月31日までにお取引のある証券会社または株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社を通じて、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただく必要がございます。



■ お問合せ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル

☎ 0120-696-505 (通話料無料)

🌐 <https://www.tr.mufig.jp/daikou/denshi.html>

